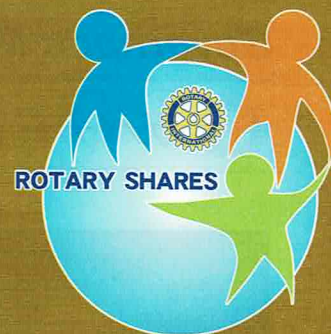


Governor's Monthly Letter



To Club Presidents and Secretaries

Rotary International District 2550 (Tochigi, Japan)

RI会長 ウィルフリッドJ.ウィルキンソン

ガバナー 近藤 隆 亮

2007~2008年度

国際ロータリーテーマ **ROTARY SHARES**

ロータリーは分かちあいの心



米陀 寛 題名[山 鷲]

目 次

- | | |
|---|-----------------------------|
| P. 1 近藤ガバナーメッセージ | P. 5 第18回国際交流タイボランティア活動 |
| P. 2 第5グループ
インターシティ・ミーティング実施報告書 | P. 6 第2550地区 新入会員 |
| P. 3 2008-09年度RI第2550地区
地区チーム・会長エレクト研修セミナー | P. 7 物故会員
2008年 地区主要行事予定 |
| | P. 8 文庫通信、ロータリー綱領 |

4月:雑誌月間

今月のロータリーレート

1米ドル=98円



国際ロータリー第2550地区ガバナー事務所

〒320-0802 栃木県宇都宮市江野町1番12号 栃木実業ビル2階

TEL 028-651-2550 FAX 028-651-2551

E-mail : k2550@lemon.plala.or.jp

2008.4

No.10



ー情報に価値を見出そうー



国際ロータリー第2550地区
2007-2008年度ガバナー

近藤 隆 亮 (宇都宮RC)

我々の身の回りの情報の多さ、そのソースの多様性、そのスピードは目を見張るばかりです。インターネットを初めとするスピードと広がりを持った情報メディアの発達普及により、我々の情報へのアプローチは飛躍的に容易になりました。然し、その結果として、我々の生活の質の向上が実現したのでしょうか？我々はここでもう一度情報とは何かを考え、情報への対応の仕方を見直してみるのも価値ある事ではないでしょうか。

情報とは、その受取人が目的と意思を持ってそれに対処して初めて「情報」となるのであって、それ以外のもものは単なるごみと同じともいえると私は思っています。即ち、情報とはそれを必要とする者（受け手）が、自分から目的意識を持って「情報源」（送り手）へアプローチし、自分の目的に対応して、送られたものを咀嚼し、必要に応じてそれを加工して、自分の目的達成のために活用して初めて「情報」としての価値と意義をもつものであると思います。

さて、我々ロータリアンの、ロータリー活動における「情報」はどのように位置付けられるのでしょうか。我々ロータリアンの重要な活動目的は奉仕であります。その奉仕の内容、即ち、対象、方法、時期などを判断するためにも、その目的に対応した情報を得ることは極めて重要です。この意味で、正しい、価値ある情報を確保することはロータリー活動にとっても欠くことは出来ませんし、活動そのものの重要な基礎を成すと思います。

我々ロータリアンには、「The Rotarian」又は「ロータリーの友」等のロータリーの地域雑誌を購読することが義務付けられています。現在世界には23の言語で、32のロータリー情報誌が発行されています。（「ロータリーの友」4月号参照）

この目的とするところは、これらの情報誌の中に掲載される、ロータリアンの活動や意見、世界の各地域でのロータリー・クラブ活動の実態報告等を通して、国際ロータリーのメンバーであるロータリー・クラブの一員として、我々ロータリアン一人一人の活動の指針と方向付けを正しく理解することであると思います。

今月はロータリーの雑誌月間です。我々ロータリアンに最も身近にある情報誌でもある「ロータリーの友」の購読を通して得られる情報を初めとし、入手可能な多くの情報を我々ロータリアンにとり価値あるものとするべく、心掛けましょう。



第5グループ インターシティ・ミーティング実施報告書

実施日:2008年2月17日(日曜日)

会 場:小山グランドホテル

ホスト:小山南ロータリークラブ



ガバナー補佐 神山 宜久

凍て付く寒さも一休みした会合日和に実施できたことを天に感謝し、第5グループロータリアンの全員(参加ではなく)登録で多くの参加を得られたことに感謝し、ホストクラブ会員及び奥様方総がかりの活躍に感謝し、大盛会の裡に終了できたことに感謝致しております。今年の研修会は「地域の心に耳を傾けよう」をテーマとして、新世代の考え方に耳を傾けてみました。

第1部では「奉仕の理想」掲げる私たちロータリアンは、「ロータリーの綱領」を良く理解し、「最もよく奉仕する者、最も多く報われる」ことに希望を見つけ、「四つのテスト」を座右の銘とし、「成熟した判断力」を持って、ロータリーライフを楽しもうと、誓い合うことが出来た(?)と自負しています。

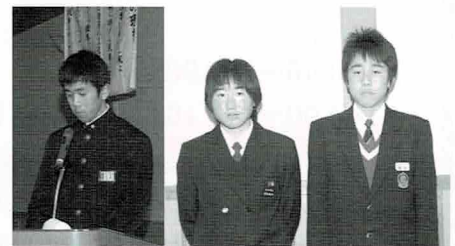
第2部では新世代の主張に耳を傾けました。市内の中学3年生の荒武永史君が「ケアンズ派遣中学生」としての感想を発表し、体験を通じて大きな視野が持てる様になった事や、人種民族を超えて互に通じ合うものを持つことが出来たこと等、国際交流の大切さを力強く訴えてくれた。しかも、高校受験の真っ最中のこの時期にである。なんとも頭の下がる思いがしました。

中学2年生の霜田健人君と伊藤麻衣さんが「広島平和記念式典」に参加しての感想を発表してくれた。原爆の物凄さ、被爆の悲惨さ、そして平和の大切さを切々と訴えた。中でも、「収容しきれなく成った人骨をそのまま埋めて、廃墟となった町を再建した。今自分はその上に立っていたのだ」と言う件には、胸に痛く突き刺さるものを感じ目頭が熱くなるのを覚えました。参加者一人ひとりが「世界の平和と人類の幸福」を目指そうと誓ってくれたものと信じています。

第3部は懇親会で、色々と情報交換が出来たものと思います。極め付けは小山市に本拠を置く「思い川男声合唱団」の演奏。心に沁みる男声四部合唱の歌声に何万人(そんなに大勢いなかった)の聴衆が痺れたことか。拍手大喝采であったことは確かです。

忠告:こんな素敵なIMを欠席すると損するぞ!

もっとIMを楽しみたい!





R I 第2550地区
2008~2009羽石ガバナーエレクト年度
「地区チーム研修セミナー」

「会長エレクト研修セミナー(PETS)」開催

R I 第2550地区2008~2009年度「地区チーム研修セミナー」が去る2月24日(日)、ホストクラブ宇都宮東RCにより開催され、又「会長エレクト研修セミナー(PETS)」が3月9日(日)、ホストクラブ宇都宮南RCによりホテルニューイタヤにおいてそれぞれ盛会裡に開催され、羽石ガバナーエレクト年度の準備が着々と進められた。

尚「次年度地区協議会」は4月19日(土)宇都宮東RCのホストにより宇都宮のコンセーレで開催されます。

2008-09年度国際ロータリー第2550地区
地区チーム研修セミナープログラム

期 日：2008年2月24日(日)
会 場：ホテルニューイタヤ(宇都宮市)
ホストクラブ：宇都宮東ロータリークラブ

12:00~	登 録	〈その後昼食をおとりください〉	
		司 会	轟 宗 雄
13:00	点 鐘	ガバナーエレクト	羽 石 光 臣
	開 会 の 辞	宇都宮東RC副会長	青 木 格 次
	歓 迎 の 言 葉	宇都宮東RC会長	川 村 寿 文
13:05~13:15	紹 介	ガバナーエレクト	羽 石 光 臣
	挨 拶	ガバナー	近 藤 隆 亮
13:15~13:45	R I 会長指針・地区目標・2008~09年度方針について		
		ガバナーエレクト	羽 石 光 臣
13:45~14:00	挨 拶	地区研修リーダー	村 上 肇
14:00~14:10	地 区 幹 事 挨 拶		福 田 治 雄
	次期地区会計長挨拶		川 村 寿 文
14:10~14:30	部 門 別 協 議 の 進 め 方	地 区 幹 事	福 田 治 雄
	質 疑 応 答	ガバナーエレクト	羽 石 光 臣

〈休 憩 ・ 移 動〉

- 14:45~17:00 部 門 別 協 議
- ① 地区活性(ガバナー補佐) ② クラブ奉仕
 - ③ 奉仕プロジェクト A職業奉仕 B社会奉仕 C国際奉仕
 - ④ 新世代プロジェクト ⑤ ロータリー財団 ⑥ 米山記念奨学会
 - ⑦ 国際大会参加推進



2008～2009年度R I 第2550地区
 会長エレクト研修セミナー(PETS)

期 日：2008年3月9日(日)
 会 場：ホテルニューイタヤ(宇都宮市)
 ホストクラブ：宇都宮南ロータリークラブ

9:30	登 録		
10:00	司 会	平 澤 照 隆	
	点 鐘	ガバナーエレクト	羽石光臣
	開 会	実 行 委 員 長	喜内敏夫
	歡 迎 の 言 葉	宇 都 宮 南 R C 会 長	田島久夫
	地 区 役 員 ・ 委 員 紹 介	ガバナーエレクト	羽石光臣
	挨 拶 (P E T S の 目 的)	ガ バ ナ ー	近藤隆亮
10:20～10:45	R I 会 長 の テ ー マ と 方 針	ガバナーエレクト	羽石光臣
10:45～11:00	ク ラ ブ 会 長 の 役 割 と 責 務 ク ラ ブ 運 営 に つ い て	地 区 研 修 リ ー ダ ー	村 上 肇
11:00～11:30	「ロータリー米山記念 奨学会について」 「会員増強について」	ロータリー米山記念奨学理事長 R I 会 員 増 強 維 持 委 員 会 委 員 元 R I 理 事	板橋敏雄
11:30～12:30	各 委 員 会 方 針	地 区 活 性 委 員 長 ク ラ ブ 奉 仕 委 員 長 職 業 奉 仕 委 員 長 社 会 奉 仕 委 員 長 国 際 奉 仕 委 員 長 新 世 代 プ ロ ジ ェ ク ト 委 員 長 R 財 団 カ ウ ン セ ラ ー ・ 委 員 長 米 山 記 念 奨 学 会 委 員 長	鈴木宏 亀田清 瀬下龍夫 塚田宗雄 飯村慎一 川名悟 佐野正行 池嶋英哲
		会 場 移 動	
12:30～13:15	昼 食	会 場 移 動	
13:15～14:45	グ ル ー プ 別 討 論	グ ル ー プ リ ー ダ ー	次期ガバナー補佐
		会 場 移 動	
14:55～15:45	報 告 各 グ ル ー プ 発 表		次期ガバナー補佐
15:45～16:45	討 論 ・ 質 疑		
16:45～16:50	講 評	地 区 研 修 リ ー ダ ー	村 上 肇
16:50～17:00	閉 会	実 行 副 委 員 長	小保方信聰
	点 鐘	ガバナーエレクト	羽石光臣
17:15～	懇 親 会		



七色の涙流して ③

——栃木県立栃木工業高等学校の
「第18回国際交流タイボランティア活動」 随記——



インターアクト委員会
委員長

岡川 光 佑 (宇都宮西RC)

ミーティングはその日の反省からはじまり延々と続く。

先生方は何も言わない。勿論進行役の班長から発言を求められれば発言するが、全て生徒にお任せです。

そこで感じたことは、このボランティア活動は「学校における教育の場である。」事に気がきました。ロータリークラブは財政的な支援をするだけで、現地のロータリークラブとは何の関わりもありません。即ちWCSの事業ではありません。ロータリークラブのみならず、ソロプチミストも財政的な支援を行っているのです。学校が主催し、学校の方針の中でインターアクトクラブの生徒に限定せず、ボランティア精神を持っている希望者が参加しているのです。この海外研修は学校教育の一環として行われているのです。

例えば工具班を例にとってみましょう。通常使う工具類は各班に配置されますが、使用頻度の少ない工具は何処に置くかの問題です。

最初は工具班の傍にありました。松本班長が管理の必要性を考えたのでしょう。ほかの班から真ん中に置くようにとの意見が出たのです。色々議論したが結論を得られず、翌日までに結論を出して処理することになりました。

確か11時ごろまでミーティングがあり、その後工具班だけで翌日の2時頃まで議論を続け、結論として真ん中に置くようにしたのです。まさに「今何をなすべきか」今を真剣に生きている姿なのです。【涙】がこぼれそうでした。

ロータリーの立場で考えますと1台でも多くの車椅子を修理して、相手の施設に喜ばれるのであれば、必要な工具は購入すべきではないかと考えますが、先生たちは生徒たちが議論して自ら結論を出す、その課程が大切であり、それが教育である、言いたいことは言わず、じっと我慢することが大切なのであると言われました。工具を買うのは簡単だがそででは教育にならないのです。

このミーティングは見習うべきであると感じたのです。

卒業生せある先輩の川村君の特別参加も後輩たちのやる気を引き出しました。

前年の活動にも参加した経験があり、修理会場である労働技術センターの職員の顔写真と名前を一覧表にして張り出し、ボランティア参加者も同様の写真と名前の一覧表を作成した結果、お互い写真と名前を確認しながら交流を深めることが出来たのです。交際交流は何も改まった席でなくても、修理中の問い掛けや質問に答えるだけでも交流になるのではないかと、ミーティングの中でも話されたことが耳に残っています。



班長の進行によるミーティング



労働開発技術センターの職員と共に



さいとうとしひこ
斎藤 敏彦
 (真岡RC)

(株)ホンデン製作所
 代表取締役 社長
 入会年月日 平成20年3月1日



たなべゆきお
田邊 幸夫
 (真岡RC)

グランドホテル静風
 支配人
 入会年月日 平成19年11月15日
 宜しくお願い致します。



みさわゆきみつ
三澤 幸光
 (真岡RC)

(有)三澤酒店
 代表取締役
 入会年月日 平成20年1月17日
 真岡RCの活動を通して人生をより豊かなものにしたいと思っております。



たかはしみえこ
高橋 美恵子
 (真岡西RC)

(株)アマノ工営
 代表取締役
 入会年月日 平成20年2月12日
 新しい人と人との出逢いと交流を楽しみに、奉仕の心も大切にしていきたいと思います。



やなぎたきんいちろう
柳田 欣一郎
 (足利RC)

柳田(株)
 入会年月日 平成20年3月7日
 四十数年ぶりの返り新参です。時差ボケの解消に時間が掛りますが頑張ります。



やながわえいいち
柳川 英一
 (足利RC)

柳川税理士事務所
 所長
 入会年月日 平成20年2月22日
 クラブの皆様と親交を深め、ロータリー活動に努力をしていきたいと思えます。



くごうしんじ
九郷 臣二
 (宇都宮RC)

(株)JTB関東 法人営業
 宇都宮支店 支店長
 入会年月日 平成20年2月21日



みとうくにたか
見当 邦隆
 (宇都宮南RC)

フタバ食品(株)
 取締役 会長
 入会年月日 平成20年3月12日
 歴史有るクラブに入会して奉仕にはげみます。



おおいしまさや
大石 正弥
 (宇都宮RC)

農林中央金庫
 宇都宮支店 支店長
 入会年月日 平成20年2月18日

訂正とお詫び

本誌先月号(第9号)で事業所所在地で間違いがございました。訂正し、関係者各位お詫び申し上げます。



あいはらさとし
粟飯原 悟
 (宇都宮RC)

(株)テラ
 専務取締役
 入会年月日 平成20年2月6日



せんぼたけし
千保 武士
 (大田原RC)

千保司法書士事務所
 所長
 入会年月日 平成20年1月24日



謹んで哀悼の意を表し、ご冥福をお祈り申し上げます。



あら まき しん いち
荒 牧 新 一
 (氏家RC)

物故 平成20年2月21日
 (享年60歳)

1982年	2月入会	1996~97年	副会長
1985~86年	S A A	1997~98年	会長
1986~87年	親睦活動	1998~99年	職業奉仕
1987~88年	プログラム	1999~00年	社会奉仕
1988~89年	青少年	2000~01年	ロータリー情報
1989~90年	職業分類	2002~03年	高齢者及び障害者
1990~91年	出席	2004~05年	会員増強
1992~93年	国際奉仕		
1995~96年	幹事	ポール・ハリス・フェロー	



2008年 地区主要行事予定

月	日	曜日	行 事	担 当	場 所
4	3	木	地区大会記念ゴルフ大会	宇都宮RC	宇都宮カンツリー・クラブ
	4	金	RI会長代理歓迎晩餐会	宇都宮RC	宇都宮グランドホテル
	5	土	2007~08年度 地区大会	宇都宮RC	宇都宮グランドホテル
	19	土	羽石年度2008~09年度 地区協議会	宇都宮東RC	コンセーレ
5	17	土	作新学院高校インターアクト認証状	提唱クラブ 宇都宮90RC	
	24	土	RI第2550地区ローターアクト第36回地区大会開催	地区ローターアクト	足利フラワーパーク内ウエステリア



文庫通信 246号

「ロータリー文庫」は日本ロータリー50周年記念事業の一つとして1970年に創立された皆様の資料室です。

ロータリー関係の貴重な文献や視聴覚資料など、2万余点を収集・整備し皆様のご利用に備えております。閲覧は勿論、電話や書信によるご相談、文献・資料の出版先のご紹介、絶版資料についてはコピーサービスも承ります。また、一部資料はホームページでPDFもご利用いただけます。

クラブ事務所にはロータリー文庫の「資料目録」を備えてありますので、ご活用願います。以下資料のご紹介を致します。

世界理解月間・ロータリー創立記念日に因んで

- ◎「ロータリー創立記念日に寄せて 四つの原点」
 - 渡辺 好政 2008 1 P (D.2690 月信)
 - ◎「世界理解月間にあたって」
 - 成川 守彦 2008 5 P (D.2640 月信)
 - ◎「世界理解月間にあたって」
 - 海上 司 2008 5 P (D.2500 月信)
 - ◎「ロータリーに魅せられて」
 - 藤川 享胤 2007 12 P (D.2520 地区大会)
 - ◎「ロータリーの初心」
 - 濱田五左衛門 2008 5 P (D.2800 地区大会)
 - ◎「大連宣言にみるロータリーの職業奉仕の心得」
 - 鈴木 政昭 2008 2 P (D.2800 月信)
 - ◎「職業奉仕こそロータリーの原点」
 - 道下 俊一 2007 9 P (D.2510 IM 報告書)
 - ◎「職業奉仕月間・米山月間によせて(大連宣言と米山基金)」
 - 金子 秀隆 2007 1 P
 - ◎「『今どきの職業奉仕』地区職業奉仕セミナー」
 - 深川 純一 2007 19 P (D.2680 月信)
 - ◎「鼎談『職業奉仕—企業の社会的責任』」
 - 村田 純一・堀場 雅夫・平井 義久
2007 8 P (D.2650 地区大会)
- 〔上記申込先:ロータリー文庫(コピー/PDF)〕

ロータリー文庫

〒105-0011 東京都港区芝公園2-6-15 黒龍芝公園ビル3F

TEL(03)3433-6456 FAX(03)3459-7506

<http://www.rotary-bunko.gr.jp>

開館=午前10時~午後5時 休館=土・日・祝祭日

ロータリーの綱領

ロータリーの綱領は、有益な事業の基礎として奉仕の理想を鼓吹し、これを育成し、特に次の各項を鼓吹、育成することにある：

- 第1 奉仕の機会として知り合いを広めること；
- 第2 事業および専門職務の道徳的水準を高めること；あらゆる有用な業務は尊重されるべきであるという認識を深めること；そしてロータリアン各自が業務を通じて社会に奉仕するために、その業務を品位あらしめること；
- 第3 ロータリアンすべてが、その個人生活、事業生活および社会生活に常に奉仕の理想を適用すること；
- 第4 奉仕の理想に結ばれた、事業と専門職務に携わる人の世界的親交によって、国際間の理解と親善と平和を推進すること。

The Object of Rotary

The Object of Rotary is to encourage and foster the ideal of service as a basis of worthy enterprise and, in particular, to encourage and foster:

First. The development of acquaintance as an opportunity for service;

Second. High ethical standards in business and professions; the recognition of the worthiness of all useful occupations; and the dignifying of each Rotarian's occupation as an opportunity to serve society;

Third. The application of the ideal of service in each Rotarian's personal, business and community life;

Fourth. The advancement of international understanding, goodwill, and peace through a world fellowship of business and professional persons united in the ideal of service.

国際ロータリー第2550地区 2月会員増強・出席報告

分区	クラブ名	2月										
		例回数	出席率		会 員 数							
			今 月	平 均	7月1日	今 月	入 会	退 会	通算増	通算減	増 減	内女性 会 員
第1グループ	大 田 原	4	82.00	85.80	46	48	0	0	5	3	2	3
	黒 磯	3	82.67	94.83	42	45	0	0	4	1	3	2
	西 那 須 野	4	95.74	95.74	51	52	0	0	2	1	1	0
	黒 羽	4	90.11	88.83	20	19	0	0	0	1	-1	1
	那 須	4	85.58	84.80	24	26	0	0	4	2	2	3
	塩 原	4	77.50	78.65	10	10	0	0	0	0	0	0
	大 田 原 中 央	4	85.20	79.36	18	22	1	0	5	1	4	1
第2グループ	鳥 山	4	73.60	77.71	18	18	0	0	0	0	0	1
	氏 家	3	89.89	89.09	32	33	0	1	3	2	1	0
	矢 板	4	96.40	91.11	33	33	0	0	0	0	0	5
	馬 頭 小 川	3	94.56	92.16	22	23	0	0	1	0	1	0
	高 根 沢	4	75.25	85.14	14	19	0	0	5	0	5	0
第3Aグループ	宇 都 宮	4	75.30	74.78	92	106	3	0	17	3	14	0
	宇 都 宮 西	4	83.43	83.95	61	61	0	0	2	2	0	0
	宇 都 宮 北	4	86.25	81.76	59	60	0	0	3	2	1	0
	宇 都 宮 9 0	2	91.25	86.11	40	40	0	0	1	1	0	4
	宇 都 宮 陽 北	4	73.50	76.46	34	34	0	0	1	1	0	5
第3Bグループ	宇 都 宮 東	4	94.16	93.55	101	100	0	0	3	4	-1	0
	宇 都 宮 南	4	70.00	73.78	50	54	0	0	4	0	4	0
	宇 都 宮 陽 東	4	81.95	84.68	44	45	0	0	3	2	1	1
	宇 都 宮 陽 南	4	86.25	88.63	20	20	1	0	1	1	0	4
第4グループ	真 岡	4	93.37	90.88	46	50	1	0	6	2	4	0
	益 子	5	84.30	86.44	38	37	0	0	0	1	-1	0
	真 岡 西	4	91.41	92.90	47	49	1	0	2	0	2	10
	し も つ け	4	93.33	92.60	30	30	0	0	0	0	0	8
第5グループ	小 山	3	91.84	93.37	49	51	0	0	2	0	2	0
	小 山 南	4	98.40	97.74	20	19	0	0	0	1	-1	2
	小 山 東	5	89.19	90.73	40	37	0	0	0	3	-3	0
	小 山 北	4	90.38	81.20	28	28	0	0	3	3	0	0
	小 山 中 央	3	78.00	78.38	26	26	0	0	0	0	0	1
第6グループ	栃 木	4	87.74	87.64	54	51	0	0	0	3	-3	0
	栃 木 西	3	85.58	86.73	44	40	0	0	0	4	-4	2
	壬 生	4	90.00	78.75	19	21	0	0	2	0	2	2
	栃 木 南	3	89.30	89.44	33	34	0	0	2	1	1	5
第7グループ	日 光	3	60.14	66.45	29	28	0	0	2	3	-1	5
	鹿 沼	4	96.34	94.07	71	72	0	0	2	1	1	1
	今 市	4	90.91	91.61	42	44	0	0	3	1	2	0
	鹿 沼 東	4	94.44	95.58	46	44	0	0	0	2	-2	2
	粟 野 西 方	3	90.50	94.54	17	16	0	0	2	3	-1	1
	鹿 沼 中 央	4	72.23	79.31	30	27	0	0	0	3	-3	1
	今 市 きぬ	4	96.09	93.96	30	32	0	0	2	0	2	1
第8グループ	足 利	3	78.65	74.49	43	46	1	0	4	1	3	0
	足 利 東	4	76.80	72.65	60	61	0	0	4	3	1	8
	足 利 西	4	73.33	75.82	15	15	0	0	0	0	0	0
	足 利 わ たら せ	4	91.38	91.34	29	29	0	0	0	0	0	0
第9グループ	佐 野	3	93.90	89.41	57	58	0	0	4	3	1	0
	葛 生	4	85.30	88.16	36	39	0	0	3	0	3	0
	田 沼	4	92.26	90.03	42	40	0	0	0	2	-2	0
	佐 野 東	4	82.61	78.99	23	23	0	0	0	0	0	0
岩 舟	4	83.70	83.03	26	26	0	0	0	0	0	1	
5 0 R C		85.84	85.86	1901	1941	8	1	107	67	40	80	